



Chitose Institute of Science and Technology

千歳科学技術大学報

発行/学校法人千歳科学技術大学企画総務課 ■ 千歳市美々758番地65 ■ TEL 0123-27-6001 ■ ホームページ www.chitose.ac.jp



第17回稜輝祭(大学祭)を開催しました

平成27年9月13日(日)に稜輝祭実行委員会主催による第17回稜輝祭(大学祭)を開催しました。

今年は、ご来場いただいた全ての方を楽しませたいという思いを込め、「AMUSE」というテーマが掲げられました。

当日はあいにくの空模様となり屋内でのイベント進行となりましたが、ご家族で楽しめる姿が多く見られ終日賑わいをみせました。また、今年は理科実験で好評を得ている理工工房が10周年ということで、高校生や他大学の学生が参加するなど例年より規模を大きくした催しを行い、たくさんのお子さまの笑顔と驚きの表情が溢れていました。

さらに、恒例となったお笑いライブでは、「流れ星」「花香よしあき」に出演いただき、稜輝祭を盛り上げていただきました。

昨年を大きく上回る来場者を迎え、盛況のうちに終了することができました。また、稜輝祭の企画・運営にあたりご協力賜りました各方面の皆様方、足もとが悪い中ご来場いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

トピックス

千歳光科学国際フォーラム(CIF'16)を開催しました

本年で第16回目を迎える千歳光科学国際フォーラムを平成27年9月30日(水)、10月1日(木)の両日、本学において開催しました。

本年は“Applied Material for Photonics”と“Optical Devices and Systems”をテーマとして三つのセッション、そして特別講演として、2010年のノーベル化学賞を受賞されたパデュー大学特別教授の根岸英一先生と、2014年に文化勲章を受章された九州大学名誉教授の國武豊喜先生のお二人をお迎えし、根岸先生は「夢を持ち続けよう!」、國武先生は「ナノテクと分子の組織化」というタイトルで講演していただきました。

特別講演当日は、会議参加者、学生等学内関係者、一般市民合わせて約200名の方々が熱心に耳を傾けていました。

三つのセッションでは国内外から6名の研究者を招聘し、それぞれの研究分野において活発な意見が交換されました。

また、ポスターセッションも開催され、本学の学部生、大学院生や北海道大学、名古屋工業大学などの大学院生らが自身の研究について熱心に発表し、国外からの研究者とも活発に意見を交換していました。

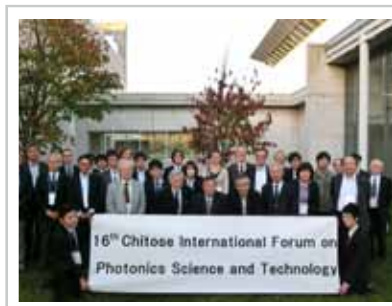
来年度も千歳光科学国際フォーラムを開催する予定です。日程が決まり次第、ホームページでご案内いたします。



根岸先生



國武先生



記念植樹



オーラル発表

平成27年度父母懇談会を開催しました



個別相談

平成27年10月3日(土)、本学において平成27年度父母懇談会が開催され、約120名の皆様にご参加いただきました。

午前10時より、大講義室で「全体説明会」及び「就職について」の説明を各担当教員より行い、参加者の

皆様は熱心に耳を傾けていました。その後会場を移し、1年生の父母向けに「初年次教育について」と題して本学の初年次教育の取り組みについての紹介、2年生以上の父母向けには各学科における「学科教育について」と題して各学科の特色ある教育内容や卒業後の進路等について紹介を行いました。

また、午後からは、「学習・生活個別相談」と「就職セミナー(就職支援会社による講演、就職個別相談、内定学生による就活体験報告会)」を同時に開催しました。個別相談では学生一人ひとりの成績や大学生活の様子、就職状況など参加者の皆様が日頃疑

問や不安に思っていることについて、担当教職員が回答いたしました。

また、就職セミナーでは、株式会社学生就職支援会代表取締役熊谷功吉氏による講演や内定学生から就職活動について生の声が聞けるということで、多くの方が参加されました。

アンケート結果においても「先生方が一人ひとりの学生を普段から見て下さり、大学生活の現状を知る事ができました。」「手厚い支援体制に感謝しています。この大学に入学させてよかったと感じています。」などのお言葉をいただき、参加された皆様にご満足いただけたようです。

次年度も開催を予定しておりますので、より多くの皆様のご参加をお待ちしております。



就職について



内定学生による就活体験報告会

学生受賞報告

学部生の高村さんが 優秀プレゼンテーション賞を受賞



高村さん(右):受賞の様子

総合光科学部光システム学科 4年の高村琳平さんが、平成27年8月29日(土)に本学で開催された「2015年度精密工学会北海道支部学術講演会」において、優秀プレゼンテーション賞を受賞しました。

この賞は、学術講演会において対象となるポスター発表の中から優秀な発表に対して授与されるものです。

タイトル: Kinectを用いた就寝者モニタリングに関する基礎的検討
発表者: ○高村琳平、青木広宙(千歳科学技術大学)

学部生の土屋さんが優秀講演賞を受賞

総合光科学部バイオ・マテリアル学科4年の土屋早紀さんが、平成27年7月18日(土)に、函館にて開催された「日本化学会北海道支部2015年夏季研究発表会(函館大会)」での発表で、優秀講演賞を受賞しました。受賞式は9月29日(火)に、執り行われました。

この賞は、日本化学会北海道支部所属学生会員の、より一層の進展と研究活動の活性化をはかることを目的として設置されたものです。



土屋さん

タイトル: 分子内水素結合を切換え可能なESIPT色素の置換基効果と蛍光制御
発表者: ○土屋早紀※1、坂井賢一※1、菊地毅光※2、芥川智行※2
(※1 千歳科技大、※2 東北大多元研)

大学院生の伊藤さんがアメリカ骨代謝学会で Travel Grant を獲得

光科学研究科光科学専攻博士後期課程の伊藤哲平さん(指導教員: 木村廣美 教授)が、アメリカ・シアトルで開催された「ASBMR(※) 2015 Kidney Symposium」において Young Investigator Travel Grant を獲得しました。



伊藤さん:会場にて

伊藤さんはASBMR 2015 Annual meeting(10月9日~12日開催)に参加するため、要旨を投稿したところ、前日に開催されるSymposiumに Young Investigator Travel Grant として、招待をうけました。また、Annual meeting においてもポスタープレゼンテーションに参加し、実りのあるディスカッションが盛況の内に終わりました。
※ASBMR: The American Society for Bone and Mineral Research(アメリカ骨代謝学会)

タイトル: Characterization of Collagen Fiber Orientation in Bone with Chronic Kidney Disease Using FTIR Imaging
発表者: ○Teppei Ito, Kyosuke Kanazawa, Yuya Kanehira, Hiromi Kimura-Suda

学部生の大鐘さんと西田さんが プレゼンテーションスキル賞を受賞

平成27年11月14日(土)、15日(日)に、北見工業大学にて行われた「PCカンファレンス北海道2015」において、総合光科学部グローバルシステムデザイン学科4年の大鐘幸一郎さんと、同じく西田理貴さんが、プレゼンテーションスキル賞を受賞しました。



大鐘さん(左)と西田さん(中央):受賞の様子

この賞は、発表内容や発表態度などを総合的に評価するもので、今年度は本学の2名が選ばれました。

タイトル: 近接通信とウェアラブルデバイスを組み合わせたデジタルコンテンツの表示に関する実験-千歳水族館を例にして-
発表者: 大鐘幸一郎、西田理貴、曾我聡起

公開講座を開催しました

平成27年度の公開講座(第3回、第4回、第5回)を以下の通り開催しました。多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

【第3回公開講座】

- 日時:平成27年8月25日(火) 18:30~20:00
- 会場:北ガス文化ホール(千歳市民文化センター) 4階 小会議室
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人 ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演題:食の安全・安心の科学
- 講師:元 千歳科学技術大学 教授 芦高秀知
- 参加者数:42名

【第4回公開講座】

- 日時:平成27年9月13日(日) 13:00~15:00
- 会場:千歳科学技術大学 1階 B102教室
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人 ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演題:太陽系探査の紫外観測の現状とその技術、また今後について
- 講師:宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所 太陽系科学系 山崎敦 氏
- 参加者数:53名

【第5回公開講座】

- 日時:平成27年10月25日(日) 14:30~16:30
- 会場:北ガス文化ホール(千歳市民文化センター) 3階 視聴覚室
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人 ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演題:癌転移検出と癌治療の最新レーザー医療技術
- 講師:千歳科学技術大学 応用化学生物学科 教授 李黎明
- 参加者数:28名

就職・キャリア支援

インターンシップ

学部3年生が夏期休業期間を利用して実施するインターンシップは、約半年後から始まる就職活動に備え、勤労観や職業観を養うことを目的として実施しており、企業等の現場を直接体験できる貴重な機会となっています。本学では第1期生より実施しており、平成15年度よりキャリア教育を強化すべく、インターンシップを単位化しております。キャリアセンターでは学

生の就業意識の向上や、入社後のミスマッチを防ぐために、インターンシップを非常に重要なものと捉え、事前研修やマナー講座などのバックアップをより一層強化しています。

今年度も多くの事業所にご協力いただき、58事業所に104名の学生を派遣しました。

インターンシップの流れ

Step.1

学生と企業のマッチング

より実りのあるインターンシップの実現に向け、学生の希望や目標に合わせ、受け入れ先企業を決定します。

学生と企業双方のニーズを考慮し、最適なマッチングを実現

- 4月~5月下旬 受入の依頼
実習内容や受入条件等を事前に確認させていただき、さまざまな企業に対し、受入をお願いしています。
- 6月上旬 インターンシップガイダンス
受入企業の情報をまとめた一覧表を学生に提示し、参加希望を募ります。
- 6月中旬 学生とのマッチング
学生の希望を基に面談(マッチング)を行い、派遣者を決定します。
- 7月上旬 受入企業へ書類の提出
インターンシップ実施に関する確認書類と自己紹介書を受入企業に送付します。
- 7月中旬 学生への事前研修
学生はインターンシップへ向けてマナー講座の受講、および受入企業についての事前レポートを提出します。

Step.2

インターンシップを実施

夏期休業期間を利用し、最低5日間以上のインターンシップを行います。

企業での就業体験を通して、実際の仕事を肌で感じる機会を実現

8月(夏期休業期間) インターンシップの実施



Step.3

学生から成果を報告

インターンシップで得た経験や成果を学生自らがプレゼンテーションします。

学生参加による成果発表

- 10月 インターンシップ成果発表会
本学では学部3年生を対象としたインターンシップを平成15年度より選択科目として単位化しております。
より有意義なプログラムにするため、貴重な体験から学んだ成果をアウトプットする場である成果発表会までを、インターンシップとして捉えています。
平成27年度は成果発表会へ30事業所、38名の担当者にご参加いただき、発表へのコメントなどを頂戴しました。



Step.4

次年度に向けた意見交換

受け入れ企業の担当者と本学教職員による意見交換の場を設け、次年度に向けた改善を検討します。

次年度に向けた実施状況の検証

- 10月 企業との意見交換会
学生と企業双方にとって、より効果的なインターンシップを実現すべく、成果発表会の後に受入事業所の担当者と本学教職員による「意見交換会」を開催しています。
平成27年度は19事業所25名の担当者にご参加いただき、受入に際しての課題、インターンシップの今後のあり方などについて意見交換を行いました。頂いた貴重なご意見を次年度のインターンシップにつなげていきます。



平成27年度インターンシップ受入事業所

【道内】

株式会社iD、株式会社・TECソリューションズ、株式会社エスイーシー、特定非営利活動法人 ezorock、株式会社エフビーエス、株式会社エルス、株式会社カミノ、キャリアバンク株式会社、株式会社協和エクシオ 北海道支店、キリンビール株式会社 北海道千歳工場、コスモ設計株式会社、株式会社札幌ネクシス、サッポロビール株式会社 北海道工場、株式会社GSI、株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア、シンセメック株式会社、株式会社ダイナックス、株式会社ダイヘン 千歳工場、千歳印刷株式会社、千歳市 企画部交通政策担当、千歳市 市民病院事務局医事課、千歳市 総務部防災学習施設、社会福祉法人千歳市社会福祉協議会、千歳市内小学校(1校)、千歳市内中学校(1校)、千歳市立図書館、中央コンピューターサービス株式会社、株式会社つうけん、株式会社つうけんアドバンスシステムズ、東芝ホクト電子株式会社、苫東ファーム株式会社、トヨタローラ道北株式会社、ナラサキスタックス株式会社、一般社団法人 日本血液製剤機構 千歳工場、北海道ガス株式会社 千歳支店、株式会社北海道産直センター、北海道日興電気通信株式会社、学校法人北海道立正学園 旭川実業高等学校、社会福祉法人北海道リハビリー、美和電気工業株式会社 札幌支店、室蘭まちづくり放送株式会社、株式会社モロオ

【道外】

株式会社エム・ソフト、大井電気株式会社 水沢製作所、株式会社湘南光学工業所、スタック電子株式会社、株式会社ソフテム、株式会社ニッセイコム、日本アルゴリズム株式会社、株式会社日本コンピュータ開発、日本通信エレクトロニクス株式会社、株式会社ハイマックス、富士アイティ株式会社、富士インフォックス・ネット株式会社、株式会社フジキン、株式会社芙蓉ビデオエイジェンシー、株式会社マイスターエンジニアリング

(50音順/敬称略)

若年求職者向け就職セミナーを開催しました

千歳市との共催事業である若年求職者向け就職セミナーを本学で開催しました。

第1回は、平成27年11月18日(水)、AIR-G'(エフエム北海道)のパーソナリティでおなじみのタレント北川久仁子さんを講師にお招きし、「北川久仁子ラジオの時間～ハ・タ・ラ・クということの意味～」と題してご講演いただきました。参加者からは「働くことへの意識が変わった」などの感想が寄せられました。

第2回は、平成27年12月2日(水)、千歳市にも拠点を持つ、東洋アドレ株式会社代表取締役社長根本裕之さんを講師にお招きし、「海外ビックリ！体験談～企業人としての勉強の心構え～」と題してご講演いただきました。こちらの開催には千歳工業クラブにもご協力をいただいております。参加者からは「海外の文化や日本と海外の関わりについて興味が湧きました」などの感想が寄せられました。



第1回就職セミナー



第2回就職セミナー

「企業と大学の情報交換会」を開催しました

企業と大学の情報交換会を東京・札幌の2会場で実施しました。東京会場は平成27年11月13日(金)に新宿ワシントンホテル(134社、165名参加)で、札幌会場は平成27年11月26日(木)に札幌ガーデンパレス(85社、113名参加)にて開催しました。第1部の大学紹介では、平成28年度から新設される情報システ

ム工学科の紹介や本学における就職状況等についての説明があり、第2部の名刺交換会においても活発な意見交換が行われました。今年も両会場とも多数の企業の皆様にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

当日のプログラムは以下の通りです。

【第1部】

- 学長挨拶(学長 川瀬 正明)
- 大学紹介
- ・学部紹介(学部長 川辺 豊)
- ・就職状況について(キャリアセンター長 小松川 浩)
- ・キャリアセンター教員紹介
- ・教職員紹介

【第2部】

- 名刺交換会
- 個別相談会



会場の様子



名刺交換会の様子

お知らせ

大学紹介動画を作成しました

千歳科学技術大学の紹介動画4編を作成しました。
この動画は学内で撮影し、理学や工学の実験・実習の面白さ、各学科の学びの特色、学生インタビューなどをまとめたものです。ぜひご覧ください。



大学紹介動画は
こちらから



大学のシャトルバスが自主運行になりました



平成27年8月から、
本学の無料シャトルバスが自主運行になりました。新しい車体は白地に「千歳科学技術大学」の校名と校章が入ったデザインとなっています。運行区

間は以前と変わらず、JR千歳駅・南千歳駅と本学の間となっています。本学にお越しの際は、お気軽にご乗車ください。

北海道東川高等学校、北海道紋別高等学校、北海道長万部高等学校と高大連携協定を締結しました

北海道東川高等学校、北海道紋別高等学校、北海道長万部高等学校と高大連携協定を締結しました。今回の3校との締結により、高大連携校は57校となりました。

【協定締結日】

平成27年8月18日(火) 北海道東川高等学校
平成27年9月10日(木) 北海道紋別高等学校
平成27年11月6日(金) 北海道長万部高等学校



北海道東川高等学校田邊校長(左) 川瀬学長(右)



北海道紋別高等学校猪股校長(左) 川瀬学長(右)



北海道長万部高等学校中坪校長(左) 川瀬学長(右)

ゆるキャラグランプリ 2015 結果報告

本学マスコットキャラクターのカーギーが、今年初めてエントリーした『ゆるキャラグランプリ2015』の結果が平成27年11月23日(月・祝)に発表されました。結果は、全体(全1,727体)で1,468位、企業その他部門(全635体)では504位となりました。皆様のご協力に、深くお礼申し上げます。

これからも愛されるキャラクターとして、大学広報に力を注いでいきたいと思っております。今後とも皆様のご応援よろしくお願いたします。

大学公式Twitterにて、 つぶやき中!



本学の何気ない情報を写真も交えて、ゆる々と発信しています。ごくたまにミニ・カーギーが登場します。

?カーギーとは?

オレンジのつなぎと、ゴーグルがチャームポイントのカーティガン・ウェルシュ・コーギーのオス。好奇心旺盛な中学1年生の男子、科技田ひかるの家に暮らす。ひかるとカーギーの一人と一匹で「カーギーズ」というユニットを組み、科学の疑問を探索すべく、毎回本学にやってくる。科学の知識に関しては、ひかるに教えてあげることが多い。



大学公式ツイッターにて情報発信中!

@cistkoho 検索

エコサークルが チャリティバザー収益金を寄付しました

平成27年10月21日(水)、エコサークルが社会福祉法人千歳市社会福祉協議会に、9月13日(日)に開催した「第17回 稜輝祭・チャリティバザー」の収益金1万4,380円を寄付しました。

当日はエコサークルを代表して3名が社会福祉法人千歳市社会福祉協議会を訪問し、目録を手渡しました。寄付をするのは、昨年に続き2度目です。



入試情報

オープンキャンパスへのご参加ありがとうございました

平成27年度のオープンキャンパスは6月21日(日)の第1回を皮切りに、11月まで計4回開催しました。毎回多くの方にご参加いただき、無事に全日程を終了することが出来ました。

来年も魅力あるプログラムで皆様の参加をお待ちしております。来年度の日程につきましては決定次第ホームページ等でご案内させていただきます。

「1日科技大生」を開催しました

「1日科技大生」を平成27年11月23日(月・祝)に開催しました。「1日科技大生」とは学期中の大学キャンパスで高校生が大学生と同じ授業に参加し、入学後と同じ「普段の一日」を体験してもらうプログラムです。当日は道内各地から高校生17名にご参加いただき、科技大の日常を体験してもらいました。

参加者からは「実際に大学の講義を受けられて楽しかった」「講義が自分が考えていたほど堅苦しくなく、受けやすいものだった」などの感想をいただきました。



平成28年度入試概要

入試区分		出願期間	試験日	試験会場	合格発表日	手続締切日	募集定員
一般学力入試	I期	1月 6日(水) ～ 1月27日(水)	2月 4日(木)	本学・旭川・釧路・ 函館・仙台	2月15日(月)	第一次:3月 7日(月) 第二次:3月30日(水)	50
	II期	2月15日(月) ～ 2月25日(木)	3月 3日(木)	本学	3月 9日(水)	第一次:3月16日(水) 第二次:3月30日(水)	10
	III期	3月 9日(水) ～ 3月18日(金)	3月24日(木)	本学	3月28日(月)	3月30日(水)	2
センター試験 利用入試	I期	1月 6日(水) ～ 2月 3日(水)	—	—	2月15日(月)	第一次:3月 7日(月) 第二次:3月30日(水)	30
	II期	2月15日(月) ～ 3月 2日(水)	—	—	3月 9日(水)	第一次:3月16日(水) 第二次:3月30日(水)	10
	III期	3月 9日(水) ～ 3月23日(水)	—	—	3月28日(月)	3月30日(水)	3

優遇・助成制度

制度	対象	金額	備考	
特待生・奨励生制度	入学生 特待生 A	(一般学力入試I・II期、センター試験利用入試I・II期において得点率90%以上の者)	1,357,000円を全額免除	原則 4年間
	特待生 B	(一般学力入試I・II期、センター試験利用入試I・II期において得点率80%以上90%未満の者)	1,357,000円を 700,000円に減免	原則 4年間
	奨励生	(一般学力入試I・II期、センター試験利用入試I・II期において得点率70%以上80%未満の者)	授業料の一部 180,000円を免除	第1学年秋学期 納付金についてののみ
	在學生 特待生	(3年、4年進級時の成績優秀者)	1,357,000円を 700,000円に減免	1年間
授業料優遇制度	兄弟姉妹で同時に在籍している、2人目以降の者 (ただし、特待生制度に該当する者は除く)	授業料の半額免除 (年間 466,500円相当)	在籍者が1人になったら 正規授業料を納付	
千歳市優遇制度	出願時、本人または保護者が千歳市民であった者 千歳市内の高等学校を卒業した者	授業料の一部免除 (年間 180,000円)	第1学年秋学期 納付金についてののみ	
帰省旅費助成制度	道外出身者	帰省旅費の半額 ※上限 20,000円	年 1回	
	道内出身者 (居住地の最寄り駅等から帰省先最寄り駅等までの距離が 200 ㌾以上)	帰省旅費の半額 ※上限 10,000円	年 1回	
千歳科学技術大学奨学金制度	経済的に修学が困難な学生	年間 240,000円支給	返還の必要なし(在学中に1回ののみ)	

法人情報

本学へのご寄付についてのご案内

千歳科学技術大学は、平成10年4月の開学以来、建学の精神である「人知還流」と「人格陶冶」の実現を目指しつつ、教育・研究及び学生生活向上に必要な資金として学生保護者、一般有志及び法人の皆様からの温かいご支援をいただく中で、多くの卒業生を社会に送り出してまいりました。

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただいております。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取り組みをご理解いただき、多くの皆様に以下の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

【募集の趣旨】

千歳科学技術大学の教育・研究環境の整備・充実を図るための資金確保を目的とします。

【募金の使途】

①教育研究活動の充実 ②施設・設備の充実 ③奨学金制度の充実

【募金内容】

- 個人の寄付 1口 5,000円
- 法人寄付 金額は特に定めていません。

【申込・払込方法】

- 金融機関で申し込む場合
本学ホームページより寄付申込書を印刷し、必要事項をご記入の上、財務課までご持参もしくはご郵送後に、指定口座にお振り込みください。
- インターネットから申し込む場合
クレジットカード、コンビニ決済、銀行決済(Pay-easy)の各決済手段をご利用になれます。寄付申込書の提出は不要です。

詳しくは本学ホームページ

(URL <https://www.chitose.ac.jp/new-info/contribution.html>)をご覧ください。

【領収書】

- 個人の場合
お振込後に本学より領収書を発行させていただきます。確定申告に必要となりますので大切に保管してください。
- 法人の場合
ご入金確認後、本学より領収書を発行させていただきます。

【寄付者の顕彰】

ご寄付をいただいた方の中で、ご了承いただいた方には、「寄付金申請書」に記載されたお名前が芳名簿を作成(1年毎)し、本学のホームページや、学報等に発表させていただきます。なお、匿名ご希望の方はその旨をお知らせください。

インターネットでの寄付金受付が可能になりました

本学では、平成27年9月1日より株式会社エフレジが提供するインターネット寄付金収納サービス「F-REGI寄付支払い」を導入しました。これにより、クレジットカード払いやコンビニ支払い、Pay-easy支払いによる寄付金の受付ができるようになりました。パソコン、携帯電話、スマートフォンから寄付支払い画面へのアクセスが可能となり時間、場所を問わず寄付受付が可能となりました。なお、インターネットからの申込みの際は、寄付申込書の提出は不要となります。

平成27年より、本学への寄付が寄付金控除【税額控除】の対象となる証明を受けました

平成27年より、寄付金控除【税額控除】の対象となる証明を、文部科学省より受けました。これにより、本学に寄付をされた場合、寄付金控除は、①税額控除制度と②所得控除制度の2種類となり、確定申告の際には、どちらか一方の制度をご選択いただくことが出来ます。

①税額控除制度をお選びいただいた場合は、所得税率に関係なく所得税額から直接控除されるため、多くの方において、②所得控除制度と比較して減税効果が大きくなります。②所得控除制度の場合は、所得控除を行った後に所得税率をかけるため、所得金額に対して寄付金額が大きい場合に減税効果が大きくなります。詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。

寄付金ページ



奨学金及び教育研究資金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育研究活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

寄付者ご芳名(平成27年8月1日から11月30日まで)

(寄付日順)

岡野 篤志 様	武山 佳世子 様	福永 宗碧 様	石澤 淳 様	渋谷 進一郎 様
板宮 慎 様	三谷 正信 様	落合 美和子 様	矢萩 直敏 様	原 健司 様
中村 彰 様	木下 隆政 様	畠山 淑子 様	池田 弘治 様	吉田 秀一 様
角田 敦 様	栗原 義則 様	川合 敏雄 様	小山 祐治 様	千葉 一夫 様

編集後記

前号から学報デザインを一新しました。全体に明るいイメージを想起していただくため、写真を多く掲載し、読みやすい内容を心がけました。まだまだ試行錯誤の状態ですが、より良い紙面を目指しています。

今号では、本学のキャリア支援の中でも、特に力を入れているインターンシップについてご紹介しました。これからも本学の活動や学内の出来事など、積極的に発信していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

